

～学びと育ちの連続性～

浦幌小中一貫CS便り

平成30年4月24日 (NO.106)



浦幌町教育委員会
浦幌町教育研究所

教職員の推進組織

小中一貫CS推進協議会

■平成30年4月24日、「第1回浦幌町小中一貫CS推進協議会」が開かれ、推進組織や事業内容が決まりました。

(1) 組織

- 会長 久門好行(教育長)
- 副会長 横山利幸(浦幌小学校長) 松橋達美(浦幌中学校長)
- 委員 都鳥秀史(中央小学校長) 池田 哲(上浦幌中学校長)
- 白井将之(浦幌小教頭) 鈴木信男(上浦公民館長)
- 山本桃子(学習指導部長) 青木由美子(生指指導部長)
- 伊藤翔祐(うらスタ部長) 安宅央喜(CS担当)
- 吉田潤子(学習指導部長) 大塚秀樹(生徒指導部長)
- 三浦雅司(うらスタ部長) 澤田理沙(CS担当)
- 事務局 熊谷晴裕(次長) 高橋 慎(参事) 佐藤 亘(次長補佐)
- 三宅正誠(係長) 原口康紀(係長) 大泉敦嗣(係長)
- 伊藤敏寛(係長)



(2) 活動内容

- ① 9年間を見通した教育課程の編成・実施(キャリア教育、算数・数学、特に英語教育 他)
- ② 合同研修やジョイント教室、乗り入れ授業等、ボランティアを活用した授業の推進
- ③ 慶応義塾大学木幡先生の指導による学園評価委員会等の実践・検証

(3) 学園小中一貫CS活動の交流



まず、会長挨拶の中で、①確かな学力をもとにした「生きる力」の育成、②アクションプランに基づいたプラスαの取組、③「スマホ・ゲーム機使用のルール」を生かした学力・体力の向上、④学園小中一貫CS委員会(学校運営協議会)との連携・協働等について方針を示しました。

主な協議事項については、次の通りです。

- (1) 今年度の小中一貫CSの推進組織や推進計画、第1回教育の日実践交流会(6月16日)の開催について提案し、了承されました。
- (2) 寿大学生との交流や公民館祭りでの発表などを通して、CS活動が広がってきました。長期休業中の学習サポート(浦幌学園)、保育所を交えた小中交流・研修(上浦幌学園)、漢字検定や英語検定等に成果が見られます。プラスαの意欲的な計画が予定されています。年度当初に学校支援ボランティアの活用希望を取りまとめていきます。
- (3) 挨拶運動やクリーン作戦の小中合同開催を目指し、学校運営協議会や地域の人たちと連携・協働した多様な取組をいっそう進めていく必要があります。
- (4) 今、浦幌町で取り組んでいる小中一貫CSの実践は、地域とともにある学校、社会に開かれた教育課程、異校種間の連携など新しい学習指導要領を先取りしています。また、子どもたちの自尊感情や自己肯定感、地域を愛する気持ちの育成に繋がっていきます。